

法学部の試験2021
メディア政策論Ⅰ レポート課題問題

担当：塚越健司

■ 以下から**ひとつ**選んで論じなさい。書き始める前に、①～⑤のいずれかを表記してはじめてください。

①うわさ、デマ、都市伝説について、それぞれ各1つ事例を用いて説明し、これらが拡散するその背景について、中間集団理論から導出せよ。その上で、ネットやSNSは中間集団の復権をなし得るか否か、論述せよ。

②講義で説明したフェイクニュースに関わる事例を2つ記述し、このような問題の背景にあるフィルターバブルについて説明せよ。その上で、この問題はあなたにとってどのような影響をもち、あなたはそれにどのように立ち向かうことができるか、論述せよ。

③現代におけるVRとAR技術がもたらした空間の個人化とは何か、講義で扱った事例を用いて説明せよ。その上で、VRとAR技術は我々の世界を良くするか悪くするか、論理的理由を伴う主張を導きなさい。

④過剰包摂の理論について、講義に沿って説明せよ。その上で、過剰包摂社会における諸個人の存在論的な不安に対処するための方法論について、論述せよ。（難易度高）

⑤規律権力とアーキテクチャについて、それぞれ講義で学んだ事例を用いて説明せよ。次に規律権力2.0について、規律権力とアーキテクチャの差異に注意しながら、講義で学んだ中国の事例を説明し、現代的な権力の問題を論ぜよ。

■ 注意事項

- ・本講義は、レポート課題が学期末試験の代わりとなります。
- ・文字数は1700字以上4000字までです。

・ネット上の文章をコピーする行為（コピペ）が発覚した場合は0点になりますので、絶対にしないでください。また、講義内で配布した各講義資料（PDF）の言葉はそのまま使用して構いませんが、基本は「自分の言葉」で書くことを念頭に置いてください。

■ 解説

・テストは教員に対してではなく、「この講義を受講していないあなたの友人が、あなたが書いたものを読んで理解できるかどうか」を問います。また、自分の言葉で説明できているかを問います（ただし、です・ます調ではなく、である調で記述すること）。

→例えば「現代人は過剰包摂されているので」等と、毎年専門用語を説明・定義無しに利用するケースが目立ちます。友達はその言葉を聞いて、理解できるかどうかを考えてください。

・説明とは、この講義で学んだことを自分の言葉でまとめて提示することです。要約と言い換えても構いません。

・レポートで求める「論じる」とは、習ったことを「説明」するだけでなく、自分で思考した内容を相手に「説得的」に記述することを主します。それは単なる「感想」ではなく、講義内で学んだ知識を吟味し、論理的にある結論を導くことです。社会人にとっては「論じる」ことができるかどうかが強ク問われます。

・レポートでは、問題をすべてを解決できるような、画期的な解決法を求めているのではありません。そうではなく、学んだ知識を利用して、自分でいかに考えたか、知識と格闘したかを評価します。
→そのため、レポートでは講義で扱ったこと以外の出来事を調べて記述しても、参考程度にしか評価しません。というより、ほとんど点数にならないので、参考文献は基本的に不要です。講義で学んだこと以外の知識で穴埋めするのではなく、知識を「検索」するのでもなく、講義内で学んだの知識と格闘、各自の思考を深めてください（逆に言えば、ネットで調べる時間は省くことができます）。学問の真髄はそこにあります。

以上です。